

拷問を受けたメキシコのラグネスさんに自由を！



アドリアン・バスケス・ラグネスさんは、2012年9月26日、バハ・カリフォルニア州ティファナを車で移動中に警察の検問を受け、その場で拘束されてしまいました。警官は「車は盗難車で、この男は麻薬密売人だと自首した」と検察に申し立て、警察施設に拘禁後、起訴されました。

不利な証言はすべて、警官の拷問などによる強制されたものでした。今年4月7日には拷問を加えた警官3人が起訴されています。

ラグネスさんの釈放と容疑の取り消しを求めて、ぜひ関係機関に手紙を書いてください。例文と宛先は、アムネスティのウェブサイト⇒「あなたにできること」⇒「緊急情報」の4月30日付メキシコの記事をご覧ください。

強かんで妊娠した少女に中絶の選択権を！

義父に強かんされて妊娠したパラグアイの10才の女兒。今年4月21日に妊娠が分かりましたが、中絶が認められず、現在、成長盛りの身体に大きな負担となっています。

世界保健機構などの専門家たちは、身体的に十分に発達していない女兒の妊娠は非常に危険だという見解を出しています。アムネスティは、彼女の選択肢として、中絶も検討すべきだと考えます。4月28日には、母親は娘の中絶を求める行政手続きを取りましたが、母親と娘の希望は無視されたうえ、女兒は妊娠している若い母親向けの施設へ送られました。

パラグアイでは、中絶は生命に危険が迫る場合にのみ認められています。しかし、子どもの権利条約では、子どもの利益が最優先されています。今回のようなケースの場合、国は中絶という選択肢を用意すべきです。

MY BODY ● MY RIGHTS

女兒の中絶が認められるよう、アムネスティの緊急アクションにぜひ、参加してください。

ウェブサイト⇒「あなたにできること」⇒「オンラインアクション」内の「緊急アクション：パラグアイ 強かんで妊娠した幼い女の子の命を救って！」からお入りください。

人権活動家のンボニムさんに自由を！

昨年の5月15日、ブルンジの著名な人権活動家であるピエール・クラヴァー・ンボニムさんが逮捕され、4か月間拘禁されていました。昨年1月、「私たちの国の若者が武器と軍服を支給され、軍事訓練のために隣国のコンゴ民主共和国に送られている」とラジオで発言していました。しかし、逮捕の直接的な原因は分かっていません。昨年9月、持病の治療を受けるため釈放されましたが、首都のブジュンブラ



Pierre Claver Mbonimpa © Jean Pierre Aime

を離れることは許されず、厳しい制限下に置かれてきました。裁判所は審問を延期するばかりで、裁判は一向に進んでいません。

同国の憲法が、大統領職は2期までと制限しているにもかかわらず、現大統領が3期目の再選を狙って選挙活動を行っている

ことから、市民団体などによる反対運動が起きています。運動に参加する人権活動家や市民、さらにその家族までもが脅迫や弾圧を受ける事態になっています。ンボニムさんもその一人だと思われる。

アムネスティでは、嫌がらせを受けているンボニムさんのような人たちを支援するため、横顔を紹介し人びとに連帯を訴えるキャンペーンを開始します。ンボニムさんもその一人です。ンボニムさんに向けた連帯のメッセージと身近な写真を stephanie.wambui@amnesty.org まで送ってください。取りまとめて、ご本人に送ります。

隔離拘禁された女性のためにアクションを！



Aster Fissehatsion © Private

アフリカ北東部のエリトリアで、アスター・フィセハシオンさんは2001年9月、当時副大統領だった前夫やその仲間10名と共に、容疑や裁判もなしに拘禁されました。彼らは反政府団体G-15のメンバーで、エリトリアの唯一の政党である民主正義人民戦線の幹部でした。G-15は、同国の社会的な危機とその解決策を示す文書を党の会員に送り、大統領と民主正義人民戦線は、憲法の下、政党間での協議を開くべきであり、司法改革などに関する国民への約束を守るべきだと主張しました。

アムネスティでは、アムステルダムのアムステルダムレジスタンス博物館で、今年の4月23日から10月25日まで、フィセハシオンさんら3人の政治犯を特集した展示会を開催中です。これに合わせて、政府関係機関に嘆願書を送付したり、フィセハシオンさんらから13年間何の連絡もない家族に励ましのメッセージを送り、この問題に対する関心を高めたいと思っています。

アムネスティでは、アムステルダムのアムステルダムレジスタンス博物館で、今年の4月23日から10月25日まで、フィセハシオンさんら3人の政治犯を特集した展示会を開催中です。これに合わせて、政府関係機関に嘆願書を送付したり、フィセハシオンさんらから13年間何の連絡もない家族に励ましのメッセージを送り、この問題に対する関心を高めたいと思っています。

皆さん、ソーシャルメディアでご協力をお願いします。投稿には、ハッシュタグ「#FreeAsterNow」とつけてください。

夫を殺害した李さんの死刑が延期に！

4月24日、中国で家庭内暴力に耐えかねて夫を殺害し、死刑を宣告されていた李彦さんが、2年間の執行猶予を言い渡されました。最高人民法院が2014年6月に出した、稀な再審命令を受けての決定でした。

この執行猶予中に、その素行に問題がなければ、慣例的に自由刑となります。アムネスティは、この判決を歓迎するものの、家庭内暴力に苦しむ女性のために戦う人権活動家5名を今もって迫害している現状を憂慮しています。アムネスティは、2013年に緊急行動を呼びかけ、ロビー活動をし、メディアに向けて発信してきました。これらの活動が中国

当局に大きな圧力となり、今回の結果につながったと見ています。

この2年間、アムネスティと一緒に活動してきた李さんの実兄も、今回の延期を受け、アムネスティに感謝のメッセージを送ってくれました。

協力くださった皆さん、ありがとうございました！



Li Yan © Private

中国の女性権利活動家5人が釈放！

国際女性デーに合わせてイベントを計画して拘束されていた女性権利活動家の5人が4月13日、保釈されました。この女性たちの拘束に対して、内外から猛烈な非難の声が上がっていたことが、今回の釈放に大きく影響したと考えられています。処分保留で釈放されたのは、韋婷婷さん、王曼さん、武嵘嵘さん、李婷婷さん、鄭楚然さんです。

彼女たちは、女性の権利を提唱する中国婦女権利行動組のメンバーで、LGBTI問題に取り組んでいる人もいます。

今回のアクションに参加してくれたすべての皆さんに感謝いたします。今後も5人の状況の注視を続け、必要に応じてアクションを呼びかけます。



UA ニュース

発行:アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F
TEL:03-3518-6777 FAX:03-3518-6778
E-mail:uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本